

## 対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力 タジキスタン心臓血管外科センター小児科医療機材整備計画

平成29年2月16日、「タジキスタン心臓血管外科センター小児科医療機材整備計画」の計画完了を記念する供与式が開かれ、田村書記官及びタジキスタン心臓血管外科センター長をはじめとする多くの病院関係者が参席しました。

1988年に設立されたタジキスタン心臓血管外科センター小児科は、首都ドゥシャンベ市の中心に位置する、タジキスタンで唯一小児心臓血管外科手術及び治療が可能な病院です。同センターへは、タジキスタン全土から年間約500人の患者が訪れます。そのうち約半数は小児科を訪れる18歳以下の患者で、年間平均150人の小児患者が同センターで手術を受けます。しかし、同センターに整備されている医療機材が古く適切な診断が行えなかったり、医療機材の不足により、患者に対し十分な処置ができない等の問題を抱えていました。

今般本計画実施に伴い手術用吸引機、血液凝固計、心臓モニターなど計18種類の医療機材が整備されたことにより、診察可能な疾患が増え、より多くの患者に対して正確な医療を提供できるようになりました。



供与式では、多くの病院関係者が見守る中、テープカットが行われました。



本計画により供与された心臓超音波探査機、心電図モニター及びシリンジポンプ。



供与された機材を使用して治療を受けている入院患者から日本の支援に対して感謝の言葉が述べられました。



メディアの関心も高く、国営放送によるインタビューも行われました。